令和６年度　シラバス

（　　）

学年	教　　科	科　　目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	歴史総合（実教出版）
3	地歴	歴史総合	2	虎野　正嗣	必修・選択	副教材名	歴史総合演習ノート

科目の目標		社会的現象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関わる様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。 （２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 （３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
学習の内容と進め方		・近代と私たち、国際秩序の変化や大衆化と私たち、グローバル化と私たちについて学習し知識と判断力を身につける。 ・歴史についての話題について考える。 ・講義形式で展開するため、ノート、プリント、課題等は丁寧に記録すること。
学習の留意点		・歴史について興味を持ち積極的に望む事。 ・課題解決学習に取り組み、考察を深める。
評価の観点	知識・技能	歴史に関する知識が身についているか、資料を活用できているか。
	思考・判断・表現	歴史的事象を多角的に捉え、その影響や意義を判断し表現できるか。
	主体的に取り組む態度	歴史について興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。

評価規準	知識・技能	A	Ｂを上回る状況に達している。
		B	歴史に関する知識が身についているか、資料を活用できているか。
		C	Ｂの状況に達していない。
	思考・判断・表現	A	Ｂを上回る状況に達している。
		B	歴史的事象を多角的に捉え、その影響や意義を判断し表現できるか。
		C	Ｂの状況に達していない。
	主体的に取り組む態度	A	Ｂを上回る状況に達している。
		B	歴史について興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。
		C	Ｂの状況に達していない。

学期	月	予定時数	単元	具体的な学習内容	評価の観点 知	思	主	評価方法等
一学期	4	1		オリエンテーション				
		2	歴史の扉	１歴史と私たち―ダンスからみるいまと昔			○	ノート
		2	第１編　近代化と私たち	２歴史の特質と資料―「装い」は何を語るのか				ワーク
		1	第１章　近代化への胎動	１江戸時代の日本と東アジア秩序の変動		○		プリント
	5	2	１江戸時代の日本と東アジア秩序の変動	２江戸時代の生産・流通と諸改革		○		
		1	２江戸時代の生産・流通と諸改革	３幕政の改革と東アジア世界	○	○	○	課題
		2	３幕政の改革と東アジア世界	４イギリス革命とアメリカ独立戦争	○		○	小テスト
		2	第２章　欧米の市民革命と東アジア世界	５フランス革命とウィーン体制	○		○	発表
		2		６アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立				
		2		７オスマン帝国の衰退とロシア				
	6	2		８アヘン戦争の衝撃と日本の開国				
		2	第３章　欧米諸国と日本の国民国家形成	９江戸幕府の滅亡				
		2		１０イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一				
		1		１１明治政府の諸改革				
	7	1		１２日本のアジア外交と国境問題				
		1	第４章　帝国主義の時代	１３自由民権運動と大日本帝国憲法				
		1		１４帝国主義の時代へ				
				１５朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争				
				１６日清戦争後の東アジア				
				１７日露戦争と東アジアの変動				
				１８日本の産業革命				
小計		25						
二学期	8	2	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち					
	9	2	第５章　第一次世界大戦と大衆社会	１９第一次世界大戦				
		1		２０ロシア革命とソ連の成立				
		2		２１米騒動とデモクラシー			○	ノート
		2		２２ヴェルサイユ体制とワシントン体制		○		ワーク
	10	2		２３アジアの民族運動		○		プリント
		2		２４第一次世界大戦後の欧米諸国		○		
		2	第６章　経済危機と第二次世界大戦	２５ひろがる社会運動と普通選挙の実現		○		
		1		２６世界恐慌と各国の対応	○		○	課題
	11	2		２７ファシズムの時代	○		○	小テスト
		2		２８満州事変と軍部の台頭	○		○	発表
		2		２９日中戦争と戦時体制				
		2		３０第２次世界大戦の勃発				
		1		３１第二次世界大戦の終結				
	12	2	第３編　グローバル化と私たち	３２国際連合の成立と冷戦				
		2	第７章　冷戦と脱植民地化	３３日本占領と日本国憲法				
		2		３４朝鮮戦争と日本				
		2		３５植民地の独立			○	ノート
		1		３６米ソ両陣営の動揺				ワーク
		1	第８章　多極化する世界	３７日本の国際社会復帰と高度経済成長		○		プリント
		1		３８石油危機と世界経済		○		
		1		３９緊張緩和から冷戦の終息へ		○		
				４０日本の経済大国化	○	○	○	課題
					○		○	小テスト
					○		○	発表
小計		31						
三学期	1	2	第９章　グローバル化と現代世界	４１地域紛争と対立			○	ノート
		1		４２国際秩序の変容		○		ワーク
		1				○		プリント
	2	0			○	○	○	課題
		0			○		○	小テスト
		0			○		○	発表
		0						
	3	0						
		0						
		0						
小計		4						
合計		60						